

平成24年度 第1回CCC芸術系グループ運営委員会 議事概要

I. 日 時:平成24年6月7日(木) 午前10時～12時

II. 場 所:私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者:久原委員 西垣委員 小川委員(ネット)宮田委員(ネット)
(事務局)井端事務局長 森下主幹 松本職員

IV. 検討事項 「学士力実現に求められる教育改善モデルの検討について」

芸術系教員に期待される学識

事務局から、「参考資料3」「参考資料4」に基づき、今年度の方針が打ち出される。

- ・「参考資料3」『情報通信技術による教育改善の研究 学系別委員会における教育改善モデル検討状況』(第3回臨時総会 平成24年3月38日)発刊報告。
- ・「参考資料4」『予測困難な時代において生涯学び続け、主体的に考える力を養成する大学へ』(審議まとめ 平成24年度3月26日 中央教育審議会大学分化会大学教育会)

続いて、芸術系教員に求められる教育力について検討を行った。

■主な内容

- ①社会に広く発進できる方針をたてる。
- ②日本の教育の立て直しを、文部科学省の要望を受け入れ、社会から大学に広く発進していく。
- ③意思決定、合意形成のシステムをへた Governance の実現の可能性を目指す。
- ④戦略として、各大学の実情を聞く事から始め、大学を統治できるようにする。
- ⑤多くの教員が実現出来なかった事例を出来るように議論をし、多様な方法で教育モデルをつくる。

キーワード

1、世界と足並みを揃え、目標値を世界で通用させる。2、政治に依存しない「個」の力を発展させる。3、グローバルな視野を持ち、日本の「かたち」を理解して形成するための教育モデルをつくる。

■「内閣国家戦略会議」、「世界戦略会議」より

MASS 型の大学から、価値観も含め多様化した中で個の学生が自分を振り返ることの出来る「学び」を身につけるトレーニングと共同体として新しい価値から「何をしなければならないか？」を考える。

以上のことから、私情協では「教育の努力」を提案する。

②項目について:日本の教育の立て直しを、文部科学省の要望を受け入れ、社会から大学に広く発進
資料1,P15、P16,17,18 から:

- ・教員の指導力改善を試みる。(資料1,P15 参照)
- ・2016年に向け、USAの大学にある「テニュア制度」を導入し、授業デザインをする。(資料1,P16 参照)

例)授業の記録(評価)を自分でポートフォリオにする等

主な内容:1、大学以外の活動能力。2、教育の振り返りから指導能力を高める。3、「学識」のある教育。3、「発見」→「統合」→「応用」のファクターで指導できる教育能力が必要。

■資料2「学士過程教育の構築に向けて」(答申)から

教育能力を組織的に持つには、どのような能力を身につけるべきか、また組織について意見を求める。その他、5分野の中で、意見交換をする事が必要。例)「物」を創る:社会の中で人間が「物」を創るとき、社会の中で、どのような「物」が必要なのか、創る人が積極的に考える。

「精神性を豊かにするモノ」として

1. 社会にとって何が必要なのかを考え始めている。社会をより良くするために何を創るか。
2. 社会の価値を高めるー社会をデザインしていくー新しい社会をクリエイティブしていく。
3. 「モノ・コト」を通して社会の質を高める(設計、デザインなど)。
4. 創造やデザインによって社会を創る。
5. 使命感を有する。

資料7: 朝日新聞掲載「大学の運営 統治にもっと学生の参加を」

大学の中に「学生会」をつくり、学生が大学のあり方について積極的に参加していく事が必要。

■持つべき学識として、

1. 使命感と倫理観が必要。
2. 学問真理から「真理の探求」が必要。
3. 世界の潮流をおさえ、また世界の潮流を見る必要があり、中立的な立場でものを見る力が必要。
4. 科学的に分析、評価できる力が必要であり、社会をイノベーションする力を持つ事が必要。
5. 連携して、「何か」を創る力が必要であり、協同して輪をつくりコーディネートする事が必要。
6. コラボレーションする力が必要。
7. ICT参加型の教育をつくる。

上記の討議を踏まえ、芸術系教員の教育力について、以下のように定義し、提案する。

芸術系教員の教育力

【1】芸術系教員に期待される学識

- ① 創作やデザインを通して個人や社会が向上していくことに使命感を有していること。
- ② グローバルな視野で多様な表現活動に積極的に関わること。
- ③ 新しい技術や表現方法の開発に意欲的に関わるイノベティブな姿勢があること。
- ④ 様々な分野とのコラボレーションを通じて表現活動できること。
- ⑤ ICTなどの教育技法を駆使して、発進型の教育ができること。

VI. 次回委員会

日時:7月12日(木)10:00~12:00

場所:私立大学情報教育協会 事務局 会議室

以上